

グリーンリカバリーと地域の産業政策 ～地球温暖化対策と再生可能エネルギーの活用～

地球温暖化の防止や生物多様性の保全を実現し、よりよい未来を目指す「グリーンリカバリー*」が世界中で広がりを見せています。この考え方を取り入れながら、地域資源を活かした政策展開を進めることにより、環境を保全しつつ経済と環境の好循環をつくり、新たな雇用の創出や地域の産業振興につなげていくことが重要です。

この研修では、ドイツやデンマークなどの海外の事例を参考に、グリーンリカバリーの基本的な考え方を理解するとともに、各地の資源を活用しながら地域の産業振興へとつなげる方策を考えます。

*「グリーンリカバリー」って？

グリーンリカバリーとは、直訳すると、「緑の復興」です。新型コロナウイルス感染症で大きなダメージを受けた経済と社会を、これまでの状態に戻すのではなく、地球温暖化の防止や生物多様性の保全を実現し、よりよい未来を目指すという考え方です。コロナ禍からの経済復興策として、EU諸国を中心にこの考え方が広がってきています。

開催要領

日 程

令和5年6月12日(月)～6月14日(水) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

市区町村等の環境政策、産業政策、企画、公営企業、まちづくり等の業務に携わる職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(各自治体の現状や施策を基に、グループで討議していただく時間もあります。)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和5年4月19日(水)まで

※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については柔軟に対応いたします。

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。

[Web申込み]が不可能な場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。

※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和5年

6月
12日(月)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:30

講義 **グリーンリカバリーを軸とした地域の産業振興**
~なぜ今グリーンリカバリーなのか~

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

「グリーンリカバリー」は、コロナ禍からの経済復興策として、EU諸国を中心に広がってきています。基本的な考え方やその背景などについて、EUやドイツの状況も交えてお話しいたします。

14:45~17:00

講義 **自治体の産業政策展開の手法**

金沢大学融合研究域融合科学系 教授 佐無田 光 氏

自治体の産業政策の展開手法についてお話しいたします。地域の資源を使いながら、新しく産業を創出するために今自治体は何をすべきか、グリーンリカバリーの視点も含めてご講義いただきます。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35

事例紹介① **デンマークにおけるグリーン転換(Green Transition)に向けた取組**

駐日デンマーク大使館 上席商務官 田中 いずみ 氏

2022年になってすぐコロナ関連の各種規制は解除され、通常の日常生活に戻っているデンマークですが、2021年4月にはデンマーク・グリーンリカバリーとレジリアンス計画が発表されました。その副題は「緑の転換(Green Transition)の加速」となっていて、デンマークが長年手がけている、緑の転換を加速するという立ち位置になっている計画及びその取組についてを紹介いただきます。

10:50~12:00

事例紹介② **再エネの地産地活・脱炭素で地域をリデザイン**

北海道石狩市 企画経済部企業連携推進課 再生可能エネルギー担当課長 加藤 純 氏

石狩市では札幌圏の産業拠点である「石狩湾新港地域」内において、陸上・洋上風力、木質バイオマス、太陽光など、地域に豊富に賦存する再生可能エネルギーを供給する「REゾーン」を設定し、環境配慮型データセンター等の誘致を通じて再生可能エネルギーの「地産地活」を図ることで、地域脱炭素と産業集積の両立を目指しています。これらの取組を軸に、再生可能エネルギーを活用した水素製造や交通部門、公共施設の脱炭素化によるCO₂削減と同時に、地域の活性化に向けた各種施策を展開し、地域の脱炭素と地域経済の発展を図っている取組についてお話しいたします。石狩市の取組は、環境省による「脱炭素先行地域(第1回)」に選定されています。

13:00~14:10

事例紹介③ **農山村の脱炭素化と地域活性**
~米原市「ECO VILLAGE 構想」~

滋賀県米原市 市民部自治環境課 課長補佐 大塚 祐司 氏

農山村の脱炭素化と地域活性化を目指して打ち出した「ECO VILLAGE構想」において、公共施設に太陽光発電設備を導入するとともに、農山村地域の大きな課題である耕作放棄地に太陽光発電設備(ソーラーシェアリング)を設置。民生部門の脱炭素化を図り、当該耕作放棄地において、AI・IoT等を実装した再生可能エネルギーを地産地消する環境配慮型園芸施設により、農福連携や女性・若者が働く場の創出を実現している取組についてお話しいたします。米原市の取組は、環境省による「脱炭素先行地域(第1回)」に選定されています。

14:25~17:00

演習 **グリーンリカバリーを軸とした地域の産業政策 I**

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

これまでの講義内容および先進事例をもとに、グリーンリカバリーを意識した政策展開への見直しや、地域の資源を活用し産業政策につなげる方策等について、グループで検討します。

17:00~

課外学習

9:25~12:00

演習・発表 **グリーンリカバリーを軸とした地域の産業政策 II**

京都大学大学院経済学研究科 教授 諸富 徹 氏

グループごとに考察した内容や討議の成果を発表します。その後、講師より講評等をいただきます。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和5年

6月
14日(水)

● 本研修は、全日程を京都大学大学院経済学研究科教授 諸富 徹 氏にご指導いただきます。

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひ登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。